



有限会社山本製菓				
業種	製造業	事業所所在地	岡山県赤磐市	
			資本金	1,000千円
			従業員数	7名
 		被承継者（左）		
		山本 正明	71歳	※承継時
		承継者（右）		
		山本 高広	45歳	※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係		
2018年		12月		
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題		
米菓（あられ・おかき）、餅、赤飯の製造卸売、小売。昭和33年創業、国産原料にこだわり、自社製造、販売を行っている。販売先は、①卸売：高質スーパー、大手菓子卸問屋が中心である。②直販は、赤磐市及びその周辺住民に対して進物、袋菓子、赤飯、お餅を販売している。なお、売上構成比は卸80%、小売り20%となっている。		・新販路の開拓（新たな流通ルートや直販の確立等） ①既存機械設備の老化による故障の増加。 ②修繕費と停止時間の増加による生産能力の低下。 ③既存得意先の廃業、縮小。		

事業承継を実行するまで			
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備	
承継実行の	5年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
商工会、中央会の支援を受けながら、全国展開販路開拓事業を活用した高質スーパー等への新規開拓に取り組んでいた。また、ハラール認証を取得し、イスラム教徒をターゲットに海外展開をスタートさせており、併せて岡山県が行う、海外での販路開拓、展示会、物産展などに参加していた時に、今後の自社の今後について、支援機関と話したことがきっかけとなった。	①現状の取引先だけでは売上、利益ともにぎりぎり ②その対策として新規取引先の開拓が必要 ③設備の老化、修繕、更新の必要性。 ④ベテランからの技術継承と若手従業員の確保 ⑤新たな時代に対応した社内体制の整備	新規販路開拓は、順調ではあるが生産技術、生産管理（在庫、品質）のノウハウの承継。組合他の役職などの負担増。	
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安	
	承継にむけて、商工会と顧問税理士に相談した。 ①商工会の経営指導員 事業承継に向けた資金と金融機関の対策 ②顧問税理士 税法上の問題と有利な制度の活用	①受注量の増加に対する生産体制 ②運転資金の確保及び金融機関との交渉 ③新商品の開発生産体制の整備 ④技術の伝承	

**これに一番苦労した！**

当社では、私の父の時と同様に先代と後継者の2人が代表取締役の体制にしていた。先代（私の祖父）は亡くなるまで代表取締役であったが、今回の補助金を契機に経営権を被承継者（父）から私に集中させるために父が代表取締役を辞任する必要があることを説明し理解・納得させることが必要であった。しかしながら、補助金の活用や経営資源の集中をくり返し説明することで納得を得ることができた。また、補助金をもらうことよりも資金を確保する事が重要であったので、金融機関から有利な条件で融資を受けるための交渉に時間と労力を要した。

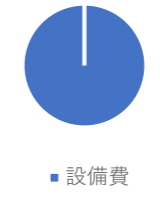
事業承継について相談したこと		
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容	
商工会・商工会議所	事業承継についてはいつかは代表権の一本化はやらなければならないと覚悟をしていた。そのために、随時商工会から助言指導を得ていた。今回は補助金を活用した具体的な方法の説明指導を受けた。 また、設備投資に伴う融資をの条件交渉について助言指導を得た。 今回は、交渉のストーリー、そして交渉のツールとしての事業承継補助金の申請書を事業計画書を活用することで、従来より有利な条件を引き出すことができた。	
いつから相談？		
承継実行の		5年前
相談のきっかけ		以前から取引やつきあいあり

## 新たな取組の標題

### ハラール認証に基づく東南アジア・欧米市場へのあられ・おかきの販路開拓

新たな取組の内容	新商品の開発又は生産
<ul style="list-style-type: none"> <li>●長年培ってきた「あられ、おかき」製造・販売のノウハウをもとに、東南アジア系のイスラム教徒をターゲットにハラール認証2013年に取得し、現在、岡山駅・岡山空港においてインバウンド向けのお土産商品として販売をしている。</li> <li>●これによって、欧米の観光客から「グルテンフリー」について問い合わせが複数あり、今回、新たに「ハラール+グルテンフリー」で新市場向けの商品改良、販路開拓を目指す。</li> <li>●老化のためボルトネックになっている餅つき機を新たに導入することで、安定的な生産と生産性向上が実現。</li> <li>●平成30年度にJETROの「新輸出大国コンソーシアム」による専門家支援を受け、10月に開催された「日本の食品輸出EXPO」までに「ハラール+グルテンフリー」のパッケージ改良を行った。また、赤磐商工会が行う平成30年度伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、フランスのリヨンで行われるシラ外食産業見本市に参加し販路開拓を行った。</li> </ul>	



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
①正社員、パート共に地域内の従業員であり、子どもの参観日や急病などの場合、その対応を優先して休暇をフレキシブルにとれるようにしており、子育て世代に働きやすい環境を提供する事で安定した雇用に取り組んでいる。 ②新卒高校生の採用を2〜3年毎に行い、邑久高校、瀬戸南高校など近隣エリアの高校からの採用を行っている。 ③岡山県産原材料を積極的に使用している 餅米、黒大豆等の原材料は農協、商社に頼るのではなく、地域の農家、農地法人に契約栽培を依頼して安定受給を図っている。 ④地域資源である酒米「雄町米」を使用したおかきを開発し、赤磐市の室町酒造とコラボした販売を行い地域活性化に寄与している。 ⑤岡山県が実施する、「香港」「台湾」での物産展に積極的に参加し米菓の輸出に挑戦している。	経費の主な使い道  設備費（自動餅搗き機導入費）

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
①事業承継補助金の説明会に香川県まで出向き、制度内容の把握等の情報収集と情報提供 ②事業計画書の作成支援 ③当補助事業の申請書作成支援と必要書類の作成指導 ④設備導入に向けての金融支援			

今後の目標～次の目標	
2018年から2021年に向けて	①地方発米菓メーカーとしての存在の確立 ②大都市での持続的な販路を作る。 ③イスラム教徒をターゲットとしたハラール認証の商品の拡販 ④欧米においてはグルテンフリー市場は市場拡大、安定性が見込まれているためこの市場への販路開拓。 ⑤HACCP方式の導入、認証取得。
売上高	25 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
普段から承継者とのコミュニケーションが必要です。お互いの考え、方向性を理解し、承継計画を立てることが必要です。商工会や税理士などの支援を受けることによりスムーズなバトンタッチが出来たように思います。	親子での承継では、普段から仕事の中で技術や社内の事を少しずつ承継していると思います。親子ゆえに言い争いなど絶えませんが目指す方向が同じでありお互いの理解が必要だと思えます。